

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 2 部門第 5 区分
 【発行日】 平成 19 年 3 月 22 日 (2007.3.22)

【公開番号】 特開 2001-322524(P2001-322524A)
 【公開日】 平成 13 年 11 月 20 日 (2001.11.20)
 【出願番号】 特願 2000-142340(P2000-142340)
 【国際特許分類】

B 6 0 R 21/20 (2006.01)

B 6 0 K 37/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 21/20

B 6 0 K 37/00 B

B 6 0 K 37/00 J

【手続補正書】

【提出日】 平成 19 年 1 月 30 日 (2007.1.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 特許請求の範囲

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エアバッグを収納し、該エアバッグを膨出させる開口部を備えるケースと、ケースの該開口部を覆うドアとを備えるエアバッグ装置において、

前記ドアの裏面からケース側に向って突出してケース側面に取付けられるドア壁を備え

、
 該ドア壁に複数の開孔が設けられ、各開孔にはドア壁をケース側面に係合するための係合部が差込まれており、

該ドア壁の断面形状において、ドア壁の根元部とその先端側で前記係合部の差し込まれる取付部とにクランク形状に形成された段差をつけて、該取付部を該根元部の延長上からずれた位置に設けた

ことを特徴とするエアバッグ装置。

【請求項 2】

少なくとも 1 の前記開孔をドア壁の根元側に向かって延長した

ことを特徴とする請求項 1 記載のエアバッグ装置。

【請求項 3】

エアバッグを収納し、該エアバッグを膨出させる開口部を備えるケースと、ケースの該開口部を覆うドアとを備えるエアバッグ装置において、

前記ドアの裏面からケース側に向って突出してケースの外側面に取付けられるドア壁と

、
 このドア壁の外側に配されて当該ドア壁をケース側面に固定するためのドアリテーナとを含み、

該ドアリテーナがケースの一の開口辺の略全長に亘って延びる部材であって、その長手方向の両端部に前記ドア壁の外側からケース側に向って突出する係合凸部が設けられ、この係合凸部が貫通する貫通孔が前記ドア壁の両端部に設けられて、前記係合凸部がドア壁の前記貫通孔を貫通して前記ケース側面に固定されており、

前記ドア壁の両端部の貫通孔間に少なくとも一の開孔が設けられ、この開孔に差込まれて前記ドア壁を掛止する爪部が、前記ドアリテーナの両端部の係合凸部間に設けられてお

り、

前記ドア壁の断面形状において、ドア壁の根元部とその先端側で前記係合凸部及び前記爪部の差し込まれる取付部とにクランク形状に形成された段差をつけて、該取付部を該根元部の延長上からずれた位置に設けた

ことを特徴とするエアバッグ装置。

【請求項 4】

前記爪部の差し込まれる前記開孔をドア壁の根元側に向って延長した

ことを特徴とする請求項 3 記載のエアバッグ装置。

【請求項 5】

前記ドア壁の前記貫通孔の内周壁に薄板状のリブが立設され、該貫通孔に差し込まれた前記係合凸部がこのリブで当接支持された

ことを特徴とする請求項 3 記載のエアバッグ装置。

【請求項 6】

前記ドア壁が、J I S K 7 1 1 0 によるノッチ付きのアイゾット衝撃試験において温度 -30°C でのアイゾット衝撃強度 $20\text{ kgf} \cdot \text{cm} / \text{cm}$ 以上で、かつ、破断しない樹脂材料よりなる

ことを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載のエアバッグ装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明の請求項 1 記載のエアバッグ装置は、エアバッグを収納し、該エアバッグを膨出させる開口部を備えるケースと、ケースの該開口部を覆うドアとを備えるエアバッグ装置において、前記ドアの裏面からケース側に向って突出してケース側面に取付けられるドア壁を備え、該ドア壁に複数の開孔が設けられ、各開孔にはドア壁をケース側面に係合するための係合部が差込まれており、該ドア壁の断面形状において、ドア壁の根元部とその先端側で前記係合部の差し込まれる取付部とにクランク形状に形成された段差をつけて、該取付部を該根元部の延長上からずれた位置に設けたものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 3 のエアバッグ装置は、エアバッグを収納し、該エアバッグを膨出させる開口部を備えるケースと、ケースの該開口部を覆うドアとを備えるエアバッグ装置において、前記ドアの裏面からケース側に向って突出してケースの外側面に取付けられるドア壁と、このドア壁の外側に配されて当該ドア壁をケース側面に固定するためのドアリテーナとを含み、該ドアリテーナがケースの一の開口辺の略全長に亘って延びる部材であって、その長手方向の両端部に前記ドア壁の外側からケース側に向って突出する係合凸部が設けられ、この係合凸部が貫通する貫通孔が前記ドア壁の両端部に設けられて、前記係合凸部がドア壁の前記貫通孔を貫通して前記ケース側面に固定されており、前記ドア壁の両端部の貫通孔間に少なくとも一の開孔が設けられ、この開孔に差込まれて前記ドア壁を掛止する爪部が、前記ドアリテーナの両端部の係合凸部間に設けられており、前記ドア壁の断面形状において、ドア壁の根元部とその先端側で前記係合凸部及び前記爪部の差し込まれる取付部とにクランク形状に形成された段差をつけて、該取付部を該根元部の延長上からずれた位置に設けたものである。